

青年部情報

名寄市職労青年部

VOL. 31 2016年 9月26日

第20回自治労中央大交流集会に行ってきました!!

青年女性 中央大交流集会 きました!!

団結がたせ★

7月29日から31日に山梨県にて第20回自治労青年女性中央大交流集会在開催され、全国から44県本部1社保労連1,951人の仲間が結集しました。名寄市職労からは、市民環境生活分会の合掌さん、税務会計分会の堂前さん、北海道団副団長として教委分会の高橋さんが参加してきました。



基調講演

残業も人事評価制度も時間泥棒

開会集会では、労働大学調査研究所の小川研さんの講演を聞きました。日本は世界トップクラスの長時間労働をしているという話を聞いて、他国との差を改めて感じました。今の日本は、残業が当たり前になっていますが、それは当たり前のことではなく、世界的にみたら異常なことなのだ、まずはそこに気付かなければいけないと思いました。現在の私たちの環境は、たくさんの時間を仕事に費やしているうえに、時間外手当がついていないという現状があり、時間だけでなくお金までも“泥棒”に奪われていることを講演の中で学びました。

職種別分散会 〜定時に帰ろう〜



分散会では、「業務量が多い・残業が多い」という声はいろんな職場からあがるが、定時に帰れるように意識して働くことや、どうして残業が多いのかと原因を考えることがすごく大事」という話になりました。業務内容を見直して、不要な業務を削ったり、効率の良いやり方を探したりすれば、時間に余裕をもって丁寧に業務をこなすことが出来るし、それがより良い住民サービスの提供できることになるのだと思います。

県内交流 〜異動希望調査を活用しよう〜

班に分かれて手作り教宣を作成しました。班員と話す中で驚いたことは、異動希望調査を希望者のみが出すのではなく、全職員が出している単組が多数あるということです。異動希望調査を活用し、人事担当者に職員の考えを受け止めてもらうことで人事異動に反映出来るのではないかと、そして適正な人員配置にも繋がり、職場を改善できるきっかけになるのではないかと考えました。★実際に作成した教宣は裏面です★

★まとめ

中央交で学んだことを参加者が自分の単組に持ちかえり、北海道全体の運動が活発になり、それが全国に繋がればいいなと思いました。そして、全国・北海道の仲間と出合い仲良くなれたことがとても嬉しいです。(中央交後も飲みに行ったりしています♡) こうした繋がりが、青年部運動を頑張ることが出来る理由の一つだと感じています。中央交楽しそうだな、と少しでも感じた方は是非次回参加してみてください♪
最後に、皆様から多くのカンパをいただきました。ありがとうございました。(合掌)

3泊4日北海道のみんなと一緒に学習や交流をとおして楽しく充実した集会でした!

中央交に参加してみて改めて継続した学習と交流が重要だと思いました。その感じたことをこれから自分が実践していきたいなと思います。みなさんから多くカンパをいただきました。ありがとうございます。(堂前)

前日の結団式も含めて、3泊4日ひたすら学習と討論を繰り返しましたが、みんな真剣に楽しそうにしていたので充実した4日間を過ごすことができましたと思います。

4日間で学んだことや感じた思いを実践に移すことが大切です。北海道参加者がしっかりと地本・単組・総支部で報告活動を行い、全道に広げ、今後の活動に繋がられるように北海道本部として頑張りたいです。(高橋)



熱闘 北海道

2016.7.30
発行所: 6 班
君島・谷井・栗
合掌・工藤・池田

事後の取り組みが

どれだけ必要か!!

私たちの問題は
全国の問題は
明らかとなった実態

職場実態の課題は北海道の集会所の多くの仲間から出ています。今回、中央交際の職種別分散会も全国各地の多くの仲間からあつちの職場の問題が山積みです。

総務部門の分散会では、青森県の仲間から、時間外勤務が常態化している課がある一方で、定時に帰っている課があり、業務量の傾りが明らかになった。この実態より、適正な人員配置と臨時職員の増員を要求しているが、当局に認められず、職場環境の改善をマキラマシタという話が出されました。

私たちの思いも
全国の仲間届けよう

仲間の本音を
知っているのか

青森県の税務職場では、時間外は勤務終了後に徴収に行った場合、庁舎を出た時間から、庁舎に帰庁した時間までしか手当がつかなく、確定申告で時間外に通常業務をしても、時間外に電話催告をしても支給はされません。これは歴代の税務課暗黙のルールとなっていたためと話が出されました。今回、分散会で話を全国の仲間としたところ、それは、オカシイと気付いたこと、他の職員は、この暗黙のルールについてどう思っているのかを持ち帰り、話していくと決意が出されました。

人事希望アンケートを
反映させる要求

皆さん、安心して働ける職場ってどうすればいいと思いますか？ 私たちの分散会、6 班では、職場環境を改善させる一つの方法として、人事希望アンケートを活用し、私たちの職場を、人事担当に知ってもらおう。そのためには提出を徹底し、組合を活用し希望の反映を要求することが大事だと確認しました。皆さんの単独・総支部では、人事希望アンケートは、ありますか？ 人事に反映されていきますか？ 皆で話して声を出さないと、要求しなければ何も変わりませんよ!!

中央交参加者からのメッセージ
北海道の仲間へ、
自分たちの運動に自信を持って!!